

ソフトウェア維持管理ソリューション Innova Tracker

日本版SOX法におけるITの全般統制

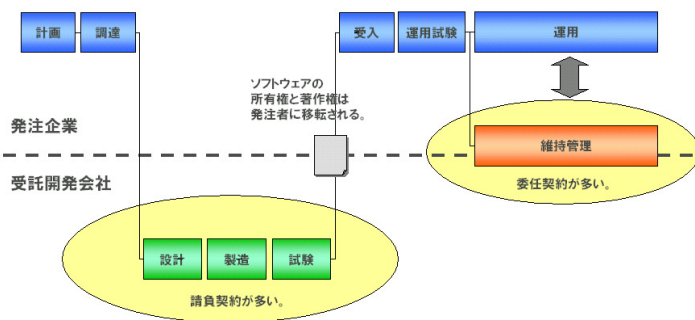
日本版SOX法では、企業における業務のIT化が強く取り上げられることとなります。すでに情報システムで処理している業務のみならず、これまで人間が行ってきた業務についても業務手順をきちんと定義し、その通りに実施していることを担保する必要があります。

日本版SOX法の基本的枠組みである日本版CSOでは、ITに対する統制活動として、業務処理統制に加えて全般統制が求められます。業務処理統制は、システムで実行される個々の処理が正確に処理され、記録されることを求めています。全般統制では、アプリケーションの取得・開発・保守が正しく行われることを求めています。

ソフトウェアのライフサイクル

多くの企業では自らがソフトウェアの開発を行うことは少なく、システムの企画を行い調達するのが一般的です。ソフトウェア受託会社は自社の品質保証プロセスに従ってソフトウェアの開発を行い、納品を行います。企業では受入検査や運用試験などを通して、ソフトウェアの品質確認を行っています。ソフトウェア開発の契約では、納品と同時に著作権などの権利が企業に転移されることが一般的であり、ITの全般統制で求められるソフトウェアの品質保証は企業に求められます。

いったんシステムの運用が開始されても、ソフトウェアの維持管理を行っていく必要があります。業務改善や操作性向上などのためのソフトウェアの改修や障害が発生した場合のソフトウェアの変更もあります。ソフトウェアの維持管理はプログラムの変更だけでなく、設計書や試験成績書などのドキュメントの変更も含んでいます。このようなソフトウェア維持管理業務は外部業者に委任することもあります。品質管理は企業自らが行う必要があります。



ソフトウェアのライフサイクル

ソフトウェアの維持管理プロセス

ソフトウェアの維持管理は、時間的制約が厳しいこと、関係者が多岐に渡ることで、直接関係するドキュメントなどの種類が多いことなどの特徴があります。大規模システムにおける障害の半分程度は維持管理プロセスを手作業で行うことによる誤りが原因であるとされています。

主要な維持管理プロセスとして仕様管理、障害対応、修正・リリースなどがあります。

【要求仕様の管理】

- 一 経営者、利用者などからの要望受付
- 一 要望の分析と要求仕様への変換、効果・コストなどの評価

【障害対応】

- 一 障害発生時の通知と連絡
- 一 緊急度・優先度の決定
- 一 原因解明と対応策の検討、効果・コストなどの評価

【要求仕様・障害対応のためのソフトウェアの修正・リリース】

- 一 ライブラリの払い出し
- 一 設計、製造、試験
- 一 リリース、ライブラリへの登録

これらの維持管理プロセスを実行するためには以下のようなきめ細かいタスクを行う必要があります。

- 一 業務(アクティビティ)手順の定義
- 一 各業務の成果物の定義
- 一 成果物の判定基準の定義
- 一 業務(アクティビティ)の実行記録
- 一 ソースコードのアクセスコントロール
- 一 ソースコードのバージョン管理
- 一 ソースコードの更新と承認履歴の管理
- 一 ドキュメントのアクセスコントロール
- 一 ドキュメントのバージョン管理
- 一 ドキュメントの更新と承認履歴の管理

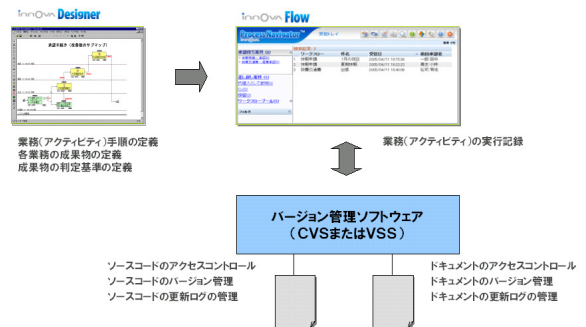
プロセスの自動化のためのソリューション

Innova Trackerは、ソフトウェアの維持管理プロセスを自動化するためのソリューションです。ソフトウェア受託会社から納品されたソフトウェアやドキュメントをバージョン管理します。あらかじめ定められた維持管理プロセスの設定内容に従って、運用担当者やプログラム開発担当者、品質管理責任者などがコミュニケーションを取りながら、それぞれが行うべき作業タスクを明確にし、必要となるプログラムやドキュメントなどへのアクセス権をコントロールします。

また、ソフトウェアの維持管理に係る作業と承認の履歴(担当者、タイムスタンプ)が自動的に取得されるので、ITの全般統制で求められている証拠への対応もできます。さらに誰がどの作業タスクでどれだけだけの工数を費やしたかや、経過時間も取得されるので、維持管理プロセス自身の改善やソフトウェアの品質改善、さらには担当者や委託している外部業者の時間管理も行うことができます。



Innova Trackerの実行画面



ソフトウェア維持管理ソリューションの概要